
貞夫君の奮闘と悲劇。

Black・K

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貞夫君の奮闘と悲劇。

【Nコード】

N7515P

【作者名】

Black・K

【あらすじ】

ちよつとメタボな幽霊の貞夫君の日々の奮闘と悲劇をまとめました（ ）

貞子師匠。

自称イケメン幽霊のケンです。今日は同じ幽霊仲間
の貞夫君が遊びに来てくれました（　　）

これは、結構前にUPした
ものなんだけど…シリーズ
化したので再度UPしました。
すんません…。

《貞夫》初めまして、
貞夫です（　　）b

僕『リング』の貞子さんが
大好きで尊敬してるんだ。
だってさ、あのテレビから
出てくるとこなんか、めっちゃ
怖くてさ…
かっこよくてさ、ホント感動
したんだ。ひそかに貞子師匠
と呼ばせてもらってるんだけどね…。

でね…僕も貞子師匠のよ
うに、かっこよく、テレビ
から出て、みんなを怖

がらせたいと思って、テレビを探してたんだ。

そしたらね、ある家のテレビが、アンティークな感じで、めっちゃ味があって…貞子師匠のように怖かつこよく出るには、絶対このテレビしかないっしょ！ウイツシュ！！と思って、出ようとしたんだ…したんだけど…

テレビが、ちよつとばかり小さくてさ、頭と腕までは、なんとか出たんだけどね…お腹が、つつかかっちゃってさ…出る事出来なかつたんだよね。

仕方ないから、引つ込もうと思つたんだけどね…これまた引つ込むのが、大変だつたんだよ（汗）肩…外れちゃうかと思つたんだから（。。）””

おまけに…テレビの前の人間達には、怖がられるどころか…苦笑いされち

やってさ…恥ずかしかったなあ（ ; ）

いやあ、今まで着てたこの白い服が最近ピッチピチだったからさあ、なんとなく太つたかな？とは思ってたんだけどね

え？なに？もお、少し、大きめのテレビを選べばいいだろうって？

チツ、チツ、チツ、チ！男つつうのは一度決めた事を、そお簡単に、あきらめちゃならないのさ！

その日から僕は、貞子師匠のように、スリムになるうと、泣く子も黙る炎の、ダイエットを始めたんだ（ > < ） "

1日に、1回は、ラジオ体操をする。

2日に、1回は、3分位何気に走る。

毎日、10時間は寝る。

そのうち、なんか身体が軽くなったような気がして、息を止めて体重計に乗ってみたら、なんと！太ってたよっ (><) "

《ケン》ん、そんな事、ドランクドラゴンの鈴木でも分かると思うけどね

《貞夫》これじゃ、いつまで経ってもテレビから出られないと思って大きめの、テレビがある家を探してたらさ、調度いい大きさのテレビがある家を見つけたんだ ()

《ケン》あれれ？男は、一度、決めた事を簡単にあきらめないんじゃないかなかったの？

《貞夫》チツチツチツ！男つつうーのは、その場その場で臨機応変に対応してかなきゃならない生き物なのさ (><) "

《ケン》 かつこわるっ！

《貞夫》 この間…その家に、大学生位の男子が、ひとりで居たからさ…

こりゃあ、今しかないっしょ！と思って、怖かつこよく、テレビから出てみたんだけど…その男子

これっぽっちも驚かないんだよね（汗）あのおほら、飛び出して見えるやつ…3Dメガネってゆうんだっけ？それを掛けているし、おまけに観てるテレビは、ホラーだしでさ、僕が出ていっても気付かないで、違和感なく観てるんだ。僕…なんか逆に恥ずかしくなっちゃってね、そそくさと帰って来たんだ。エヘヘッ！

《ケン》 笑って、ごまかしてるけど…結局、失敗したって事だよな（

つてか：貞子は電源OFF
の、テレビから出るんだ
よ。黒いテレビ画面から
這いずり出るからこそ、
インパクトあるし、怖い
んじゃん。それなのに、
何故に貞夫君は、電源ON
テレビから出ようと思っ
たのかな？基本とここで間
違ってたんだよね（><）

それにその中途半端な髪
の長さも毛質！あゝたね
ピースの又吉じゃないん
だから、ストレートパー
マかけるとか、伸びるの
が待てないんだったら、
ロン毛ヅラでも被るとか
したら？

《貞夫》ううゝ（泣）

《ケン》ああ、それとね
泣いてるとこ悪いんだけど、
その南海キャンディ
ーズの山ちゃんばりの目
の細さだと、貞子のように、
白目に黒目の、あの
インパクトのある目は
無理だと思うんだよね。

だからね今度トライする時は瞼に、マジックで、目を書いたらどうか？

まままま、目を、つむらないと、その瞼に書いた目は効果が無い訳だから、物にぶつかって、ケガなどしないように、くれぐれも気をつけてね

ってか、貞夫君さ…同じ幽霊に向かつて言うのも何なんだけど、貞夫君は男だしさ、貞子は女子だしさ…そこら辺も、やっぱり無理あるんじゃないのかな？はつきりいつて僕には、ひと回り小さくしたマツコ・ラックスの幽霊版にしか見えないんだよね (><) "

ままま、そんなに考えこまないでさ、今日は、ゆっくりして、明日からまた、がんばりなよ！

僕でよかったら、いつで

も相談にのるからさ、
また遊びに来てよね

《貞夫》ん…やだ…。

……

《ケン》じゃ、またね！

おかめちゃん。

どつも、自称イケメン
幽霊のケンです（ ）

なんか：幽霊の貞夫君が
またまた、こりもせずに
相談があるってゆーんで

今日は【田中の独り言】
の田中君にも来てもらっ
て一緒に話しを聞く事
になりました（ ）

貞夫君、田中君、みなさ
んに挨拶：宜しくう！

《田中》田中です。おじ
やまします（ ）。

《貞夫》お久しぶりです
貞夫です（^^）b

いきなりなんです、
ちよつと最近困った事
がありました：どうしたら
いいのか、アドバイスを
もらいに来ました。宜し

く、お願いしますm(_____)m

実はですね、この間…

僕の誕生日だったんです
けど…お誕生日に幽霊界
のアイドル的存在の霊子
ちゃんから、オカツパ頭
の可愛い、お人形さん
を頂いたんですよ

おかめちゃんってゆう人
形なんですけど、とって
も可愛いんですよ。
それに、とって嬉しか
つたんだ(_____)”

だって、あの…アイドル
の霊子ちゃんが…誰かに
プレゼントをするなんて
聞いた事ないし…

も、もしかして…僕に気
があつたりして！んふ

だけどね…ひとつ困ると
ゆうか、面倒な事がある
んだ(_____)”

おかめちゃんの髪の毛が
ね…貰った時には肩まで

の長さだったのにさ…

次の日の朝には床につく位に伸びてたんだ（汗）だから肩の辺りまで切り揃えてあげただけど…

なにせ伸びるのが早すぎて…この間、友達と泊で温泉旅行に行つて帰つて来たら、なんか黒い物が、ドアの隙間から突き出てるんで、何かな？

と思つてドアを開けたらおかめちゃんの髪の毛が床に這うように伸びててさ…まるで黒い絨毯（じゆうたん）でも敷いてあるみたいになつてたんだよね（。。）”

いやあ、僕も、どつちかつてゆーと、怖がらせる立場の方だけどさ…

さすがに、この時ばかりは、うかつにも、ヒイ！つて声あげちゃったんだよね（><）”

それからがまた大変だったんだよあゝ（　　）”
切った髪の毛を、ゴミ袋に入れて、掃除機をかけてさ。…せつかく温泉に入って疲れを取ってきたのに、またまた、どつと疲れが溜まっちゃったよだからといって、霊子ちゃんに返す訳にもいかないし…（><）”

ケンさん、田中さん、髪の毛…何か、いい方法ないですか？

《ケン》そつちかゝい！人形を、どう処分したらいいのか？って聞かれると思ったよ（><）”

うゝん、髪の毛ねえ（汗田中君なら、どうする？

《田中》そおゝですね…じゃあ、小堺一樹さんにお人形を差し上げたらどうかな？前に、小堺さん

自分の番組で、髪の毛が伸びる人形の事が、とっても、うらやましいって言っただけから。あ、でも小堺さんの髪の毛が伸びる訳ではないのだから、ダメですね（><）”

それじゃあ、美容師の、たまごちゃん達に来てもらって、カットの練習をさせてあげるのは、どうかな？なにせ切っても切っても伸びるんだからカットの練習には持つてこいだと思っただけ。

《貞夫》あ、なるへそ早速、近くの美容室の、たまごちゃん達に声をかけて来てもらいます。ありがとうございます。

《ケン》貞夫君：喜んでめっちゃ、スキップして帰って来たよ。よかったよ。よかった（。 ）”

あつ（。o。o）貞夫君：あまりの嬉しさに、階段

ある事に気付かないで、
思いつきり転げ落ちて、
幽霊なのに…足、骨折し
ちやったまいたいだよ（汗

貞夫君：幽霊の君に、こ
んな事を言うのも何なん
だけど…人形の髪の毛が
どうのこうの言う前に、

その人形を連れて…1度
お払いに行ってみたら
いーと思うよ（><）”

多分…霊子さんって人は
貞夫君に気があるから、
プレゼントしてくれた訳
ではなくて…人形の髪の毛に、手…余してたんじ
やないのかなあ（。。）

《田中》あ、でも、あれ
ですよ…おかめちゃん
シャンプーしなくていー
から、楽だよ（　　）

だって、切っても切って
も伸びてくるから、常に
新しい髪の毛だからさ、
キレイだもんね（　　）

《ケン》 いや、だから…
そうじゃなくて（ ; ; ）

《田中》 あ、そういえば
僕も、これから髪切りに
行かなきゃならないんで
これで、失礼しまあす

《ケン》 …あ、っそ！…
じゃあ、僕も、これで…
失礼しますわ（ ; ; ）

まっ たねえ（ ; ; ）
こりずにまた宜しくね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7515p/>

貞夫君の奮闘と悲劇。

2010年12月30日21時50分発行